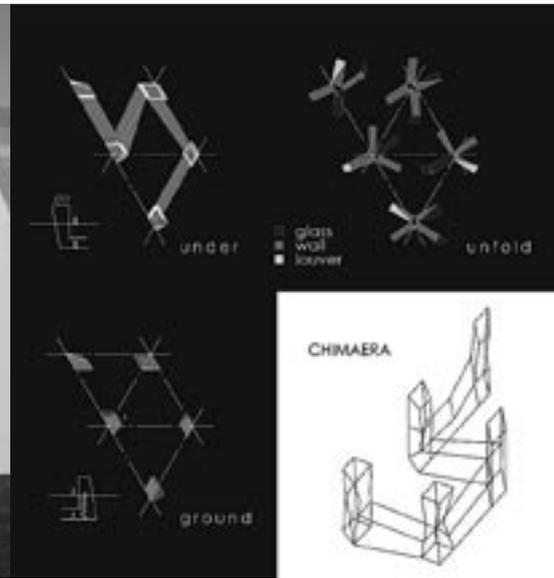
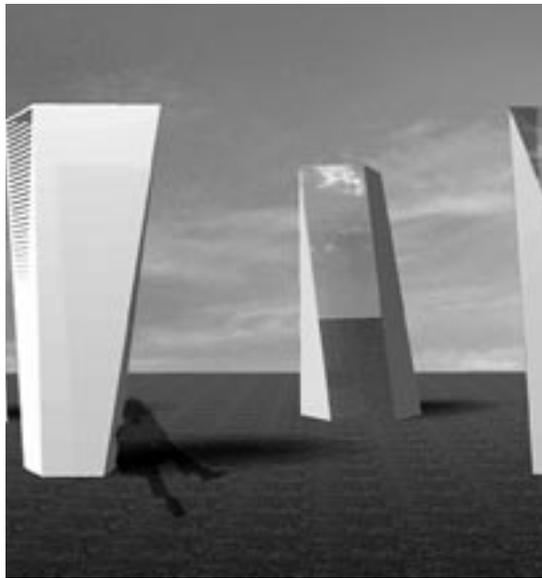


第13回エスバイエル住宅
コンペティション佳作
「光源氏の家」

光源氏は恋愛そのものの象徴であり実在しないキメラのような存在。実存を隠された家としての機能。体積を与えられた開口である小塔。
如何様にも変化する面の集合体。

👤 佐藤慶延
📅 2003/4/10



第3回京の町家
コンペティション 最優秀賞
「夷川通りの京町家」

この作品は、「新しい京町家、新しい京都の町並み」を主題とした2003年6月の第3回京の町家学生設計コンペティションにおいて、私達が最優秀作品賞を受賞した案に基づいて京都市中京区に建築、販売された4棟の建売り京町家です。2004年6月末に竣工し、既に4世帯の方が生活しています。

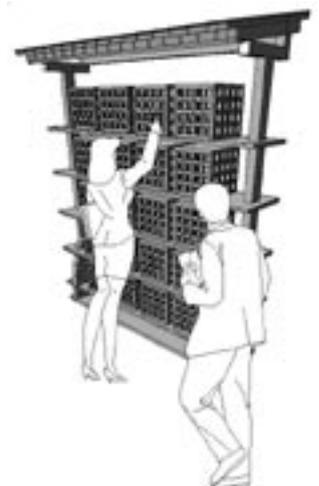
👤 大平貴臣 丸吉泰道 / vgl's
📅 2003/6/8
📍 京都市中京区



第8回 飛騨・高山 学生家具
デザイン大賞金賞
(同時優秀校賞受賞)
「'X' BOX」

高山陣屋前で行なわれている朝市には、飛騨高山を訪れる観光客がよく足を運ぶ。それは、多種多様(X)な方が利用する可能性があるということであり、利用する方の利用方法も多種多様(X)である。よって、どんな方がどんな利用方法をしようとしてもそれに対応できる物を提案したいと思い「'X' BOX」を提案した。

👤 福原亮
📅 2003/7/1
📍 飛騨・高山



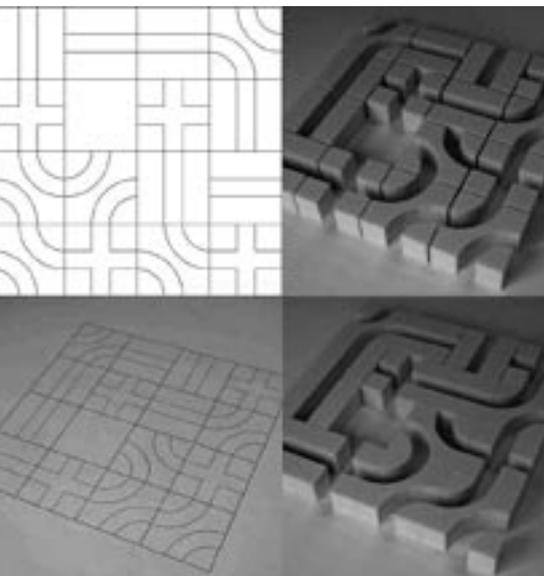


新建築住宅設計競技 2003 最優秀賞「建築ウイルス」

「建築ウイルス」というテーマに対し、単調なビルが連続する均質な東京の風景が少しずつ違った物に変容していくという。東京のどこにでもありそうな中小オフィスビルを群として捉え、上部の余剰容積に住宅を配置し、容積率を確保しながら下部のオフィスビルが少しずつ変容していく。

👤 石崎哲也

📅 2003/9/1



第10回 union 造形デザイン賞 特別賞「大きな家」

住宅が小さくなるにつれて機能が廊下までに及ぶことで、廊下本来の持つ「空間と空間のつながり」は失われていく。大きな家にとって廊下は空間を結び付けることでそれが機能である。それらが集まることで廊下は未熟な空間を結び、空間につながりが生まれ、隔たりを生む。つながりと隔たりが同時に生まれるこの家はお互いを肯定しながら、既成のフレームには表れない新しいゆとりを持つ「大きな家」がつくられ続ける。

👤 川上恭輔 吉川美鈴

📅 2003/9/10



代官山インスタレーション 入選「アマダコミュニケーション ー出会い連鎖するー」

代官山の街行く人々にインスタレーションを通して、何かをさせてみようという視点から出発した。歩く人の動線と行為が上手く繋がるそんな game が、人々に楽しさを与え、街の活気に働きかける。アマダクジという昔からある日本人オリジナルの game に、手紙と言うアナログな伝達方法で未だ見ぬ誰かとコミュニケーションをはかる。手紙はアマダクジの持つシステムによりリレーされ、無数に繰り返される。残されたメッセージはアマダクジの中で微笑み、街行く人に小さなアートを提供する。

👤 横田裕史 落合正行
川上恭輔 / PEA

📅 2003/11/22 ~ 12/14

📍 P ヒルサイドテラス B 棟壁面